

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-139	13-100	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Preoperative alcohol consumption and postoperative complications: a systematic review and meta-analysis. 術前の飲酒と術後合併症：システマティックレビューとメタアナリシス		
執筆者		
Eliassen M, Grønkjær M, Skov-Ettrup LS, Mikkelsen SS, Becker U, Tolstrup JS, Flensburg-Madsen T.		
掲載誌		
Ann Surg. 2013 Dec;258(6):930-42. doi: 10.1097/SLA.0b013e3182988d59. Review.		
キーワード		PMID
術前飲酒、術後合併症、メタアナリシス		23732268
要 旨		
背景と目的： 術前の飲酒と術後合併症に関する研究結果は一貫した結果が報告されていない。この研究の目的は、体系的なレビューを行い術前の飲酒と術後合併症の関連のエビデンスを合併症のタイプごとに要約することである。		
方法： システマティックレビューとメタアナリシスは、MEDLINE、EMBASE、CINAHLそしてPsycINFOにおける文献検索に基づいて行った。術前の飲酒と術後30日以内に生じた術後合併症の関連性を調べた原著、3,676が同定され、適性についてのレビューを実施した。55の研究が解析にもちられフォレスト・プロット、相対リスク(RR)及び95%信頼区間(CI)を術後合併症のタイプ毎に推定した。		
結果： 術前の飲酒は、一般的な術後合併症の罹患率 (RR=1.56、95% CI : 1.31~1.87)、一般的な感染症 (RR=1.73、95% CI : 1.32~2.28)、創部合併症 (RR=1.23、95% CI : 1.09~1.40)、肺の合併症 (RR=1.80、95% CI : 1.30~2.49)、入院期間延長 (RR=1.24、95%CI : 1.18~1.31) および ICU 入院 (RR=1.29、95%CI : 1.03~1.61) を含む様々な術後合併症と関連していた。多量飲酒は、術後死亡リスク増加 (RR=2.68、95%CI : 1.50~4.78) と関連していた。少量から中等量 の術前の飲酒と術後合併症は関連していないように思われたが、この分析に用いた研究は極めて少数であった。		
結論： 術前の飲酒は一般的な術後合併症の罹患率、一般的感染症、創部合併症、肺の合併症、入院期間延長および ICU 入院のリスク増加と関連していた。		